

Sé Catedral de Santarém

について



サンタレン大聖堂 – Nossa Senhora da Conceição (聖母マリア) 教会

今日、Nossa Senhora da Conceição大聖堂、サンタレン教区の中心部は、かつては旧総大司教神学校の一部だった場所を占めています。回りまわって旧サンタレン王宮の廃墟には、時空を超えて、イエズス会大学が建造されました。この場所は、聖母マリアに身を捧げる教会を伴う大学の建設を目的として、D.ジョアン4世により1647年イエズス会に寄贈されました。

イエズス会士とD.ドゥアルテ・コスタが資金を提供した建物は、騎士修道会お気に入りの建築家、マテウス・ド・コウトにより建設されました。彼の作品は、マネリスト・ファサード様式に歴然としています。この様式は窓の位置と装飾的要素によって明確に区切られた5つの部分に分けられます(壁がんにはイエズス会の選ばれた聖人が、最上階には教会の守護聖人収められています)。最上階はペディメントで、ここにはとりわけあるべき鐘楼が欠けており、2つの大きな渦巻き飾りと尖塔が所定の位置を占めています。

内部は、装飾用大理石の使用が明らかで、8面の壁祭壇の4面にある金箔を施した彫刻と身廊の天井と主祭壇の絵画が完璧な組み合わせとなっています。最後に述べたものは、アンドレア・デル・ポッツォの画家と建築家のための遠近法の規則と例の完璧な適用例となっています。特に注目に値するのは、1713年にさかのぼる主祭壇を取り囲む装飾用石材で、D.ジョアン5世の時代(1706~1750年)の芸術的サイクルの特徴を示しています。これらの装飾は建築家でマフラ女子修道会の彫刻学校の信奉者、カルロス・バプティスタ・ガルボの作品で、パドアの彫刻家ジョバンニ・アントニオ・ベッリーニの制作によるロヨラのイグナチオと聖フランシスコ・ザビエルを描いた2つの壮大な大理石像を構成しています。1740年、同じ彫刻家はNossa Senhora da Boa Morte(アワー・レディ・オブ・グッド・デス)の祭壇も作り上げました。ここで見られる装飾は、イエズス会に特有の図像的言語を支持するバロック風の荘厳な雰囲気をもたらしています。

問い合わせ先

Praça Sá da Bandeira 2000-135 Santarém
電話 : +351 243 304 060
Eメール: geral@museudiocesanosantarem.pt
ウェブサイト: <http://www.museudiocesanosantarem.pt>

バリアフリー案内

身体の不自由な方でもアクセス可能

入口へのバリアフリー経路

- 全部

バリアフリー入口

- 全部

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア

建物内のバリアフリー通路

- 一部

バリアフリーのエリア/サービス

- 身体障害者用設備

その他の情報

運動能力に制限のある障害者は、サンタレンの教区博物館(Museu Diocesano de Santarém)から大聖堂に入場してください。